



地域を支え

人に寄り添い

人生を応援する

むすび

VOL20

第6回むすびプロジェクト研修会開催 2026.2.27

むすびプロジェクトでは「退院後の生活を知り、支援に生かす」をテーマに研修会を開催しています。今回は、当事者の境正彦氏と伴走支援を続けてきた老川大輔氏（共にNPO法人列島会所属）を講師にお招きしました。

脳卒中を経験して気づいた“退院”がゴールじゃなかった！ 境正彦氏

脳卒中発症から11年、境氏はリハビリや復職、運転再開、さらには登山への挑戦に至るまで、驚くほどアクティブな日々を送られています。その姿は、病院から送り出した当時の姿からは想像もつかないほどイキイキとしたものでした。「退院はゴールではなく、第二の人生のスタート」という境氏の言葉には、幾多の困難をポジティブに転換してきた力強さが宿っており、私たち医療従事者に大きな感動と勇気を届けてくださいました。

支援者の立場から 老川大輔氏（作業療法士）

その歩みを支えてきた老川氏は、支援の核心として「できないことではなく、強みに目を向けること」の大切さを強調されました。就労支援から始まり、現在は職場の同僚として支える老川氏。意思決定は常に本人と共に行い、たとえその判断が間違っているとしても、次の対応を本人が見出せるよう後押しする姿勢が、本人の自立と成長に繋がることを教えてくださいました。

～研修を通じて～

今回の研修を通じ、病院内では見えにくい「退院後のリアル」を学ぶことができました。病気を人生のターニングポイントと捉え直し、人のネットワークを広げながら新たな人生を謳歌する。その一歩を支えるパートナーとして、私たち支援者がどうあるべきかを再確認する貴重な機会となりました。



左：境氏 右：老川氏



列島会は北九州市にある障害者・高齢者・子育て世代の「働く」「暮らす」を支援するNPO法人です！



就労継続支援B型事業 左：ものづくり 右：洗濯



就労継続支援A型事業 左：介護周辺業務(施設外) 右：パン製造

むすびの活動 NOW

6月20日 福祉と医療の連携を考える会
演題発表「医療と地域をつなぐ心の交流会の活動報告」

8月 第7回むすびプロジェクト研修会
開催予定

5月 LINE配信内容

転ばぬ先の杖

成人のワクチン



編集後記

今回は、境氏、老川氏、さらに列島会中村理事長にもお越しいただき交流を深めることができました。お忙しい中、九州からお越しいただき本当に感謝しています。ご講演でいただいた、たくさんの感動は、明日からの活力にします！（安部）

